

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する

施策1-1 文化芸術の魅力や楽しさに「気づく」機会を創出する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	アートアクセスあだち「音まち千住の縁」	シティプロモーション課	足立区・東京藝術大学・NPO法人の共催で、千住地域を中心に「音」をテーマにしたアートイベントを展開します。地域住民や関連団体などと連携し、人と人の縁を結びながら文化振興を図る「区民参加型まちなかアートプロジェクト」が特徴です。 ※1 予算額（負担金）変動により、プログラム数の増減あり。 ※2 共同主催者の体制変更等により、事業終了となる場合あり。	参加者数	音まち千住の縁主催プログラムの参加者数	11,704人	11,062人	13,000人
2	Japan Festa in ADACHI	地域文化課	日本及び足立区の伝統文化の魅力や、子どもから大人まで幅広い世代に伝えるためキャラクシティで実施しているイベントです。R4年度には、子どもたちによる音楽発表やプラネタリウムでの講談などを開催し、参加者総数は8,783名を数えました。 また、観るだけでなく、多くの体験プログラムを用意しており、邦楽体験や忍者体験ワークショップなども開催しました。	参加者数	当日実施されるワークショップやホール公演等の参加者数 ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	10,213人	0人	22,000人
3	シアター1010鑑賞事業	地域文化課	演劇を中心とした話題性のある企画やアンケートでの希望が多いコンサート・落語などを取り入れ、足立区の文化芸術の発信拠点として区外にもアピールし、あらゆる世代に優れた文化芸術を鑑賞できる機会を提供します。R4年度には「千住落語会 柳家喬太郎独演会」「東儀秀樹 新春プレミアムステージ」、仲代達矢氏の舞台「無名塾『ハリモア』」などを開催しました。 なお、文化芸術に触れ合うきっかけづくりとして、「シアター1010友の会」の割引のほか、文化庁の補助を受けた「最高のオパハン」や「大誘拐」の公演に子どもたちを招待しています。	利用者数	シアター1010の利用者数 ※劇場だけでなく稽古場、音楽練習室、ギャラリーなど文化活動の利用者も含めた数	389,745人	159,303人	390,000人
4	アトリウムコンサート	地域文化課	区民が、気軽に良質な音楽を無料で鑑賞できる機会を提供するため、年に9回程度、お昼休みの時間帯に、区役所本庁舎アトリウムにて開催します。	観客数	アトリウムコンサートの観客数 ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	1,365人	0人	1,530人
5	東京藝術大学連携・芸術によるまちづくり事業	地域文化課	東京藝術大学の大学生・卒業生による、区民を対象としたコンサート（動画配信含む）・ワークショップを、東京藝術大学音楽学部千住校及び区内施設へのアウトリーチとして実施します。	参加者数【実施回数】	藝大千住キャンパスや地域学習センター、民間施設等での区内全域において開催した藝大コンサートイベントの参加者数および実施回数	193人【3回】	109人【2回】	500人【4回】
				動画配信ごとの視聴回数合計【動画本数】	コンサート動画の配信ごとの視聴回数の合計および配信した動画の本数 ※R3年度まではコロナ禍の影響により動画配信を中心にしていたが、R8年度の目標は対面コンサートと併用	—	14,659回【4本】	5,000回【2本】
6	ストリートピアノ事業	地域文化課	手軽に自由に弾けるストリートピアノで、区民等へ音楽に触れあう機会を創出します。キャラクシティおよび興本地域学習センターへR3年度から常設しており、R4年度からは興本地域学習センターでの使用可能時間を拡大しています。また、R4年度はアウトリーチ事業としてポンテホルタ千住のイベントスペースにて実施しました。今後とも区内各地でストリートピアノを行っていきます。	参加者数（上段：キャラクシティ 下段：興本地域学習センター）	キャラクシティおよび興本地域学習センターへ設置したストリートピアノの参加者のべ数 <R3年度開始>	—	14,032人 119人	— 500人
				参加者数（アウトリーチ）【アウトリーチ回数】	ストリートピアノのアウトリーチイベントへの参加者のべ数およびイベント開催回数【【 】はアウトリーチ回数】 <R4年度開始>	—	—	120人【2回】

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する

施策1-1 文化芸術の魅力や楽しさに「気づく」機会を創出する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
7	文楽鑑賞事業	地域文化課	連携協定を締結した「国立劇場」の「文楽公演」をシアター1010で実施するなど区民が伝統芸能に触れる機会を創出します。	参加者数	区内で開催した文楽公演の来場者および文楽教室参加者数 <R5年度開始>	—	—	—
8	シアター1010 文化のちから体験会	地域文化課	シアター1010で、子どもと大人が舞台芸術鑑賞をすることで、文化芸術に親しむ機会を提供します。また、コロナ禍で休止していましたが、ワークショップやアウトリーチ事業を再開させ、区民が文化芸術活動に触れるきっかけ作りの場を創出し、優れた文化芸術を身近なものとして享受できる機会を提供します。	来場者数 【公演回数】	文化のちから体験会（子どもと大人の文化芸術事業）に来場した人数および公演回数 ※公演回数は、区主体の貸し切り方式と民間主催の一部買取方式を含めたものです。	—	1,889人 【10回】	6,500人 【10回】
9	【再掲】 郷土芸能を保存・伝承する団体の支援 (3-2 No.2)	地域文化課	郷土芸能の保存・継承を目的に郷土芸能保存会の支援を行います。 また、お囃子や獅子舞などの鑑賞を行う「郷土芸能鑑賞会」を郷土博物館などで開催するとともに、区民まつり等のイベントで、演奏の機会を提供し、郷土芸能の保存・継承と後継者が生まれるきっかけづくりを図っていきます。	鑑賞者数 役員会開催数	郷土芸能大会および郷土芸能鑑賞会の鑑賞者数 保存会役員会の開催の回数 ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	1,014人 6回	0人 4回	1,200人 7回
10	【再掲】 コンサートinミュージアム (公社自主事業) (4-2 No.2)	生涯学習振興公社	区内5か所の民間文化施設（六町ミュージアム・フローラ、昭和の家く平田邸、わたなべ音楽堂くヘルネザール、石洞美術館、BUoY）をつなぎ、それぞれの特徴や魅力を最大限に活かしたコンサートや催し物を区民に届ける事業です。 区民への文化発信と、地域への愛着や誇りの醸成を図っていきます。	実施回数	参加5施設（石洞美術館、わたなべ音楽堂、昭和の家、六町ミュージアム、BUoY）でのコンサート等の催し物回数	5回	2回	5回
11	西新井文化ホール公演事業	地域文化課	足立区の音楽や文化活動の中心となり、足立から世界へ文化を発信していくホールとして、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる、公演やイベントを開催しています。	観覧者数	西新井文化ホールで行われる公演の観覧者数	17,436人	10,944人	20,000人
12	郷土博物館の企画展・出張博物館・ワークショップ事業	地域文化課（郷土博物館）	郷土博物館では年数回の企画展を実施しています。また、教育普及事業として、館または区内の施設やイベント等で出張博物館やワークショップを実施しています。区の歴史文化や日本美術等に触れる機会をつくることを目的としています。 (R5年1月からR7年3月まで改修のため休館)	来場者・参加者数	郷土博物館が実施する企画展、出張博物館、ワークショップ等の来場者、参加者数	19,888人	7,123人	20,000人

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する

施策1-2 子どもの成長に応じた文化芸術事業を提供する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	ギャラクシティ事業	地域文化課	遊びながら学べる体験型複合施設という特徴を活かし、学校では経験できない遊びや体験を提供し、夢やチャレンジ精神を育み、これからの時代を力強く生き抜く子どもたちを育てます。また、講談や体験で伝統文化の魅力に触れる「Japan Festa in ADACHI」や、中高生が仲間と音楽等を学ぶ「Gがくえん」など、楽しみながら文化芸術に触れる機会を提供しています。	来館者数	ギャラクシティの来館者数 ※保護者等を含み、かつ区外からの来館者数も含む (ギャラクシティおよび西新井文化ホールは大規模改修を予定しているが、目標値は1年間稼働した場合の人数を記載)	1,391,494人	504,656人	1,500,000人
2	東京藝術大学連携事業・音楽教育支援事業	青少年課	連携事業では、文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的な文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施します。 また、支援事業では、今後の区内文化芸術振興に資することを目的として、区内の小・中学校等における出張型の音楽教育支援活動を行います。 (1) 区内の小・中学校及びこども園を訪問しての音楽鑑賞会及びワークショップ。 (2) 区内小・中学校の部活動の指導補助。	実施校割合 実施校数 参加者数	区内の小・中学校及びこども園を訪問し、音楽教育支援活動としての音楽鑑賞会及びワークショップ、音楽科授業の指導補助、部活動の指導補助などの開催校となった「こども園」、「小学校」、「中学校」の割合。また、実施校数。 《【 】は参加者数》	50% 53校 【10,338人】	40% 42校 【4,828人】	54% 57校 【8,500人】
3	区立小学校5年生向け芸術鑑賞体験事業	地域文化課	全ての区立小学校5年生を対象に、豊かな心を育むため良質な文化芸術の鑑賞機会を提供します（R4年度は劇団四季）。	実施校率 参加児童数	芸術鑑賞体験事業を実施した区立小学校の割合および参加児童数 ※ R5年8月1日現在の小学生がR8年度に小学5年生になったときの人数です。 <R4年度開始>	—	—	100% 4,900人
4	【再掲】シアター1010文化のちから体験会（1-1 No.8）	地域文化課	シアター1010で、子どもと大人が舞台芸術鑑賞をすることで、文化芸術に親しむ機会を提供します。また、コロナ禍で休止していましたが、ワークショップやアフタリナー事業を再開させ、区民が文化芸術活動に触れるきっかけ作りの場を創出し、優れた文化芸術を身近なものとして享受できる機会を提供します。	来場者数 【公演回数】	文化のちから体験会（子どもと大人の文化芸術事業）に来場した人数および公演回数 ※公演回数は、区主体の貸し切り方式と民間主催の一部買取方式を含めたものです。	—	1,889人 【10回】	6,500人 【10回】
5	子どもの未来応援アウトリーチコンサート	生涯学習振興公社	子どもの貧困対策の観点から、文化芸術体験が少ないと思われる子どもたちに向け、プロの演奏家が様々な施設に向かいコンサートを実施する事業です。 間近で迫力ある生演奏を披露したり、楽器や曲の話をするなど、子どもの興味関心や意欲を高め、豊かな感性を育むきっかけになることを目的としています。	実施回数	コンサート実施回数 ※文化施設での開催と訪問による開催が、年度によって違うため、参加者数ではなく実施回数を活動指標とします。 ※目標値達成のため上方修正	1回	2回	3回
6	足立ジュニア吹奏楽団支援	生涯学習振興公社	区内の主に小学4～6年生を対象に、吹奏楽の演奏技術を習得させることにより、生涯に渡り音楽を愛好する児童の育成を図り、区の音楽文化を支える人材の輩出に寄与していきます。	団員数	足立ジュニア吹奏楽団の団員数	47名	42名	60名
7	学習センター事業【子ども・子育て世帯向け講座】	生涯学習支援課	指定管理者のノウハウを活かしながら、子どもや子育て世帯を対象に、様々な体験をする機会を提供します。	事業数	生涯学習センター及び地域学習センター（13センター）の子ども・子育て世帯向け講座数 ※数日通して行う講座は、通算で1回とし、同じ内容の講座でも数回に分けて実施する場合は、その都度1回とカウントします。	842事業	626事業	850事業

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱1 生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する

施策1-2 子どもの成長に応じた文化芸術事業を提供する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
8	足立の歴史を知るイベント	地域文化課	足立区の古代を体験するため、年2回、伊興遺跡公園にて小学生以下を対象に、勾玉づくり体験や火起こし体験などの「子どもイベント」を実施します。 また、伊興や花畑地域などの住宅建築の際に発掘調査等を行い、埋蔵文化財の保存・記録をしています。伊興遺跡公園展示館では、発掘調査等で出土した埋蔵文化財を展示しており、見沼代親水公園駅改札内では、駅建設当時の発掘調査成果の展示も行っています。	参加者数	年2回程度、伊興遺跡公園にて開催するイベントの参加者数（子どものみ） ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	416人	0人	560人
9	小学校・地域学習センターへの出前事業	地域文化課	区内小学校や地域学習センターへ出向き、遺跡発掘調査で出土した土器や勾玉等を活用した出前授業を実施します。区内遺跡から発見された出土品の活用を積極的に行い、児童が古代の歴史について興味を持つように促します。	実施回数 参加者数	区内小学校および地域学習センターで実施する出前授業の回数および参加者数 ※R3年度の小学校はコロナ禍の影響で実施なし 《【 】は参加者数》	【小学校】 4回 【90人】	【小学校】 0回 【0人】	【小学校】 5回 【150人】
						【地域学習センター】 2回 【32人】	【地域学習センター】 1回 【20人】	【地域学習センター】 5回 【100人】
10	【再掲】 ストリートピアノ事業 (1-1 No.6)	地域文化課	手軽に自由に弾けるストリートピアノで、区民等へ音楽に触れあう機会を創出します。ギャラクシティおよび興本地域学習センターへR3年度から常設しており、R4年度からは興本地域学習センターでの使用可能時間を拡大しています。また、R4年度はアウトリーチ事業としてポンテボルタ千住のイベントスペースにて実施しました。今後とも区内各地でストリートピアノを行っていきます。	参加者数 (上段：ギャラクシティ 下段：興本地域学習センター)	ギャラクシティおよび興本地域学習センターへ設置したストリートピアノの参加者のべ数 <R3年度開始>	—	14,032人 119人	— 500人
				参加者数（アウトリーチ） 【アウトリーチ回数】	ストリートピアノのアウトリーチイベントのべ数およびイベント開催回数《【 】はアウトリーチ回数》 <R4年度開始>	—	—	120人 【2回】
11	郷土博物館・伊興遺跡公園の社会科見学受け入れ事業	地域文化課	主に小学校社会科における、地域や昔の暮らしを学習する機会を提供しています。学校教育の一環として、学芸員からの説明を行いながら観覧することで足立区の歴史や文化について学習する機会を提供しています。	来校数	郷土博物館及び伊興遺跡公園の社会科見学受け入れ学校数 ※郷土博物館はR5年1月～R7年3月の期間休館	34校	18校	52校
12	地域文化倶楽部（あだちっこくらぶ）	地域文化課	子どもたちが音楽文化のおもしろさや、表現する楽しさを見つけ、親しみを持つ心を育むクラブです。音楽に苦手意識を持つ子どもでも安心して楽しみながら参加できる活動の場を提供します。	参加者	あだちっこくらぶへ参加した児童生徒数 <R3年度開始>	—	17名	30人

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の活弁な文化芸術活動を促進する

施策2-1 活動の継続を促す参加・体験の機会を増やす

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	各学習センター事業	生涯学習支援課	指定管理者独自の工夫を施し、歌、楽器、書道、生け花、寄席などの講座・体験活動・鑑賞会をはじめとした多種多様な事業を展開してまいります。	事業数 参加者数	生涯学習センター及び地域学習センター（13センター）の事業数《【 】は参加者数》 ※数日通して行う講座は、通算で1回とし、同じ内容の講座でも数回に分けて実施する場合は、その都度1回とカウントします。	2,650事業 【63,981人】	1,795事業 【22,160人】	2,650事業 【63,981人】
2	文化・読書・スポーツ活動協創推進事業 「ちよいスポ」「ちよいカル」「ちよい読み」	地域文化課 生涯学習支援課 スポーツ振興課 中央図書館	より多くの区民が文化・読書・スポーツの楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きることができるよう、各分野相互の連携事業として、地域学習センターを中心に「ちよいスポ」「ちよい読み」「ちよいカル」を展開してまいります。 例えば、「ちよいカル」では、複合施設内の図書館前共有スペースを活用し、親子で簡単に楽しめる工作やアロマ体験などの講座を行います。	実施回数 参加者数 実施会場数	読書・スポーツ分野と連携した、協創推進事業の年間の総実施回数《【 】は参加者数、実施会場数》 ※R元年度新規事業 当面の目標として、複合施設のある地域学習センター全館での実施を目指します。	—	752回 【5,954人】 【15センター】	3,360回 【33,600人】 【15センター】
3	【再掲】 アートアクセスあだち 「音まち千住の縁」 （共催事業） （1-1 No.1）	シティプロモーション課	足立区・東京藝術大学・NPO法人の共催で、千住地域を中心に「音」をテーマにしたアートイベントを展開します。地域住民や関連団体などと連携し、人と人の縁を結びながら文化振興を図る「区民参加型まちなかアートプロジェクト」が特徴です。 ※1 予算額（負担金）変動により、プログラム数の増減あり。 ※2 共同主催者の体制変更等により、事業終了となる場合あり。	参加者数	音まち千住の縁主催プログラムの参加者数	11,704人	11,062人	13,000人

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の活弁な文化芸術活動を促進する

施策2-2 個人や団体の活動の継続を支援する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	文化芸術団体への支援	地域文化課	区民、団体に対して、区や教育委員会の後援名義を使用承認することで文化芸術活動を支援しています。また、文化庁事業「伝統文化親子教室」の申請サポートなど、区民の文化芸術活動の支援も行います。	後援事業数	足立区後援名義使用の承認事業数	68事業	55事業	80事業
2	文化芸術振興基金の活用	地域文化課	文化芸術振興及び推進のための事業に基金を活用します。現在は、「子どもと大人の文化体験事業」及び「あだちエンターテイメントチャレンジャー支援事業」に充て、事業の推進に寄与しています。なお、芸術鑑賞体験事業（R4、5年は劇団四季の鑑賞）にも活用します。	活用金額	文化芸術振興及び推進のための事業に基金を活用します。現在は、「子どもと大人の文化体験事業」及び「あだちエンターテイメントチャレンジャー支援事業」に充て、事業の推進に寄与しています。なお、芸術鑑賞体験事業（R4、5年は劇団四季の鑑賞）にも活用します。	12,600千円	10,500千円	16,600千円
3	あだちエンターテイメントチャレンジャー支援事業	地域文化課	将来メジャーでの活躍を目指すアーティストを対象に、練習や公演の場として天空劇場等を無料で貸し出すなどの支援をしており、R4年度末時点で12団体が登録し活動しています。また、えんチャレ登録アーティストの公演や登録アーティストが一堂に会する「えんチャレまつり」というイベントを、区民に無料で実施することで、文化芸術に親しむ機会を提供します。	登録団体数	エンターテイメント支援事業に登録した1年間の団体数	6団体	9団体	10団体
4	【再掲】 ストリートピアノ事業 (1-1 No.6) (1-2 No.10)	地域文化課	手軽に自由に弾けるストリートピアノで、区民等へ音楽に触れあう機会を創出します。ギャラクシティおよび興本地域学習センターへR3年度から常設しており、R4年度からは興本地域学習センターでの使用可能時間を拡大しています。また、R4年度はアウトリーチ事業としてボンテポルタ千住のイベントスペースにて実施しました。今後とも区内各地でストリートピアノを行っていきます。	参加者数 (上段：ギャラクシティ 下段：興本地域学習センター)	ギャラクシティおよび興本地域学習センターへ設置したストリートピアノの参加者のべ数 <R3年度開始>	—	14,032人 119人	— 500人
				参加者数(アウトリーチ) 【アウトリーチ回数】	ストリートピアノのアウトリーチイベントのべ数およびイベント開催回数《【 】はアウトリーチ回数》 <R4年度開始>	—	—	120人 【2回】
5	音楽3団体各種演奏会	地域文化課	音楽3団体（足立シティオーケストラ・足立区民合唱団・足立吹奏楽団）の定期演奏会を、それぞれ年2回開催しています。区は共催として、会場の確保及び区施設へのチラシ配布依頼やあだち広報・区ホームページにより広く周知しています。良質な音楽を鑑賞する機会の提供や、演奏会を契機に文化活動に携わる区民の増加を狙い、3団体の活動が継続、発展できるように支援していきます。	観客数	音楽3団体の定期演奏会等の観客数 ※R3年度はコロナ禍の影響で演奏会1事業のみ実施 ※年6回行った場合の会場の上限定員：5,718人	4,100人	60人	5,000人
6	共催団体の各種共催事業	地域文化課	春のふれあいコンサート、東京足立少年少女合唱団定期演奏会、フリーステージ・アダチ、足立区音楽祭、足立区合唱祭、海の日ジョイントコンサート等、各種団体のイベントを区は共催事業として支援しています。	共催事業数	区が共催する文化事業数 (音楽3団体と足立区文化団体連合会は除く)	11事業	6事業	13事業
7	イベントコーディネーター	生涯学習振興公社	地域の団体、機関、行政等から、文化事業に関する相談を受け付けます。各種催し物の企画や出演者の提案、出演者交渉などを行い、地域での文化芸術事業の活性化と、地域のアーティスト等の支援を行います。	相談件数	文化事業実施に関する相談件数 ※相談窓口業務のため、目標値の設定はせず、実績値のみを集計していきます。	16件	4件	—

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の活発な文化芸術活動を促進する

施策2-2 個人や団体の活動の継続を支援する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
8	郷土博物館講師派遣事業	地域文化課（郷土博物館）	区内の企業・学校・地域団体等（個人は除く）が自主的に行う郷土学習において、郷土博物館が講師を派遣して講座や体験教室、まち歩き等を実施しています。	実施回数	講師派遣依頼に基づく講演、体験教室等の実施回数	16回	10回	20回
9	講師派遣事業 （学び情報サービス）	生涯学習支援課	生涯学習関連の講師情報・講座情報を集約し提供することで、生涯学習や文化芸術活動を支援します。	メニュー数	学び情報サービスに登録しているメニューの数	245メニュー	206メニュー	250メニュー
10	センター登録団体制度	生涯学習支援課	自主的・継続的にサークル活動を行う団体は、各地域学習センターに登録することができます。登録を行うと施設の優先予約が可能となります。 また、地域学習センターが団体と連携し、体験講座を行うことで会員増加につなげるなどサークル活動を支援します。	登録団体数	各地域学習センターに登録している文化団体の数	407団体	353団体	410団体
11	サークル情報登録事業	生涯学習支援課	区内のサークル情報を集約し、各センター窓口やホームページ上で提供することで区民の生涯学習活動を支援します。	登録サークル数	生涯学習センターホームページに登録しているサークル数	366サークル	322サークル	410サークル
12	【再掲】 西新井文化ホール公演事業（1-1 No.9）	地域文化課	足立区の音楽や文化活動の中心となり、足立から世界へ文化を発信していくホールとして、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる、公演やイベントを開催しています。	観覧者数	西新井文化ホールで行われる公演の観覧者数	17,436人	10,944人	20,000人

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱2 区民の活発な文化芸術活動を促進する

施策2-3 活動の成果を発揮できるイベントを開催する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	足立区展・美遊展・文化祭	地域文化課	足立区展では、絵画、彫刻、図工・美術（平面・立体）、書道（一般・少年）、写真の5分野について、区民からの公募作品による展覧会を開催し、上位入賞者を表彰します。また、足立区文化団体連合会加盟団体の会員の活動成果を、美遊展・文化祭として、春と秋に、区内各所で発表・展示します。	足立区展応募作品数・イベント数	足立区展の応募作品数 足立区文化団体連合会の発表・展示のイベント数	905作品 19イベント	862作品・ 11イベント	1,000作品・ 21イベント
2	サークルフェア・ふれあいまつり	生涯学習支援課	全14学習センターでは年1回、登録団体や地域の方々で組織された実行委員会による、作品展示・発表会・体験コーナー・出店などが楽しめるイベントを開催します。各センター登録団体の発表と交流の場となる重要なイベントとなっています。	来場者数	生涯学習センターで開催するサークルフェア及び地域学習センターで開催するふれあいまつりの来場者数	45,808人	949人	45,000人
3	ADACHI障がい者アート展	障がい福祉センターあしすと	障害者基本法が定める障害者週間（12月3日から9日）にあわせ、障がい者（児）の自立と社会参加の意欲向上とともに、一般区民への啓発を目的として実施しています。区は共催事業として、障がい者の文化芸術活動の発表の場を支援するとともに、障がい者の方たちの活動を広く周知しています。	①企画参加者数 ②来場者数 ③ホームページ閲覧数	①アート企画展に参加した団体（個人参加は1団体としてカウント）②アート展開催期間中、足立区役所内当該ブースへの来場者数※R3年度はコロナ禍の影響で会場での実施なし③アート展開催から当月末までの、足立区ホームページの閲覧数（当年度分のみ）	①74団体 ②3,460人 ③なし	①37団体 ②0人 ③3,717回	①60団体 ②4,000人 ③4,600回
4	大ひょうげん	地域文化課	子どもたちが、自分で選んだ演目（祭囃子・狂言・胡弓・歌舞伎）を数日間、その道のプロの指導を受けて練習し、西新井文化ホールにおいて発表する夏の一大イベントです。子どもたちが様々な芸術に触れ、自分を一生懸命に表現する喜びを体験するとともに、芸術活動の楽しさを知ってもらうイベントです。	参加者数	事業に参加し、発表をした子どもの人数 ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	497人	0人	2,000人
5	【再掲】 あだちエンターテイメントチャレンジャー支援事業（2-2 No.3）	地域文化課	将来メジャーでの活躍を目指すアーティストを対象に、練習や公演の場として天空劇場等を無料で貸し出すなどの支援をしており、R4年度末時点で12団体が登録し活動しています。また、えんチャレ登録アーティストの公演や登録アーティストが一堂に会する「えんチャレまつり」というイベントを、区民に無料で実施することで、文化芸術に親しむ機会を提供します。	登録団体数	エンターテイメント支援事業に登録した1年間の団体数	6団体	9団体	10団体
6	【再掲】 イベントコーディネーター（2-2 No.7）	生涯学習振興公社	地域の団体、機関、行政等から、文化事業についての相談窓口として、各種催し物の企画や出演者の提案、出演者交渉などを行い、地域での文化芸術事業の活性化と、地域のアーティスト等を支援します。	相談件数	文化事業実施に関する相談件数 ※相談窓口業務のため、目標値の設定はせず、実績値のみを集計していきます。	16件	4件	—

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱3 足立区の文化資源を次世代に継承する

施策3-1 文化財・文化遺産を調査し、保存・活用する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	貴重な文化資源を活用した企画展の開催	地域文化課（郷土博物館）	R5～6年度は、大規模改修に伴う長期休館中であるため、その間は地域学習センターで講座などを実施します。また、R4年度の特別展を契機に開始した電子展覧会を継続し、休館期間中でも足立の美術や文化に触れていただく機会を提供します。 これまで文化遺産調査の成果として美術品を中心に特別展で公開してきましたが、R7年度の博物館リニューアル以降は常設展でも多くの作品をご観覧いただくことを予定しています。	来場者数 開催回数	企画展の来場者数および開催回数 （R5～7大規模改修予定）	15,434人 【4回】	7,123人 【2回】	17,000人 【3回】
				電子展覧会閲覧数	郷土博物館が実施する電子展覧会の閲覧数 <R4年度開始>	-	-	-
2	【再掲】 足立の歴史を知るイベント（1-2 No.8）	地域文化課	足立区の古代を体験するため、年2回、伊興遺跡公園にて小学生以下を対象に、勾玉づくり体験や火起こし体験などの「子どもイベント」を実施します。 また、伊興や花畑地域などの住宅建築等の際に発掘調査等を行い、埋蔵文化財の保存・記録をしています。伊興遺跡公園展示館では、発掘調査等で出土した埋蔵文化財を展示しており、見沼代親水公園駅改札内では、駅建設当時の発掘調査成果の展示も行っていきます。	参加者数	年2回程度、伊興遺跡公園にて開催するイベントの参加者数 （子どものみ） ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	416人	0人	560人
3	【再掲】 小学校・地域学習センターへの出前事業 （1-2 No.9）	地域文化課	区内小学校や地域学習センターへ出向き、遺跡発掘調査で出土した土器や勾玉等を活用した出前授業を実施します。区内遺跡から発見された出土品の活用を積極的にを行い、児童が古代の歴史について興味を持つように促します。	実施回数 参加者数	区内小学校および地域学習センターで実施する出前授業の回数および参加者数 ※R3年度の小学校はコロナ禍の影響で実施なし 《【 】は参加者数》	【小学校】 4回 【90人】	【小学校】 0回 【0人】	【小学校】 5回 【150人】
						【地域学習センター】 2回 【32人】	【地域学習センター】 1回 【20人】	【地域学習センター】 5回 【100人】
4	常設展示を活用した江戸時代以降の足立を紹介	地域文化課（郷土博物館）	R5～6年度は、大規模改修に伴う長期休館中であるため、その間は地域学習センターで講座などを実施します。また、R4年度の特別展を契機に開始した電子展覧会を継続し、休館期間中でも足立の美術や文化に触れていただく機会を提供します。 これまで文化遺産調査の成果として美術品を中心に特別展で公開してきましたが、R7年度の博物館リニューアル以降は常設展でも多くの作品をご観覧いただくことを予定しています。	入館者数	郷土博物館の年間入館者数	20,770人	7,123人	25,000人 ※R5～7大規模改修
5	【再掲】 郷土博物館・伊興遺跡公園の社会科見学受け入れ事業（1-2 No.10）	地域文化課	主に小学校社会科における、地域や昔のくらしを学習する機会を提供しています。学校教育の一環として、学芸員からの説明を行いながら観覧することで足立区の歴史や文化について学習する機会を提供しています。	来校	郷土博物館及び伊興遺跡公園の社会科見学受け入れ学校数 ※郷土博物館はR5年1月～R7年3月の期間休館	34校	18校	52校

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱3 足立区の文化資源を次世代に継承する

施策3-2 地域の伝統文化を次世代に継承・活性化させる

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	文化芸術を担う人材の育成	地域文化課	主に、伝統行事や伝統芸能の体験事業（郷土芸能鑑賞会など）により、次代を担う人材育成の支援を行います。また、文化庁の補助事業を活用することにより、地域の習い事等を支援し、きっかけづくりを行い、人材育成につなげていきます。そのほか、郷土芸能等の動画を撮影し、技術の継承や、後継者育成などに活用していきます。	伝統文化親子教室の参加者数の開催回数	伝統行事・伝統芸能体験及び講座や講習会等に参加した人数 《【 】は、の開催数》	—	158人 【139回】	300人 【140回】
2	【再掲】 郷土芸能を保存・伝承する団体の支援 (1-1 No.9)	地域文化課	郷土芸能の保存・継承を目的に郷土芸能保存会の支援を行います。 また、お囃子や獅子舞などの鑑賞を行う「郷土芸能鑑賞会」を郷土博物館などで開催するとともに、区民まつり等のイベントで、演奏の機会を提供し、郷土芸能の保存・継承と後継者が生まれるきっかけづくりを図っていきます。	鑑賞者数 役員会開催数	郷土芸能大会および郷土芸能鑑賞会の鑑賞者数 保存会役員会の開催の回数 ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	1,014人 6回	0人 4回	1,200人 7回

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱4 文化芸術の輪を広げるプラットフォームを形成する

施策4-1 足立区の文化的な魅力を効果的に情報発信する

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	効果的情報発信	地域文化課	文化芸術に関する情報をあだち広報や地域学習センター発行の情報誌のほか、ICTを活用して発信します。また、チラシやポスターだけでなく、伝統文化の映像発信、「電子展覧会」やSNSなどを活用するとともに、シティプロモーション課のワークショップなどを活用して、効果的な発信につなげます。	アクセス数	ホームページに掲載したイベント情報の年間アクセス数	—	41,583回	60,000回
2	文化芸術の推進につなげる普及活動	地域文化課	学習センターを中心に展開している「ちよいカル」や東京藝術大学連携コンサートのアウトリーチ・絵本シアターなどの分野間連携イベントなど、これまで文化芸術へ関心がなかった方へ関心を持ってもらうきっかけとなるよう、事業をPRしていきます。	実施回数	イベント等での普及活動の年間実施回数 ※目標達成、上方修正【当初の目標12回】	—	66回	150回
3	JOBANアートライン	地域文化課	東京藝術大学・JR東日本東京支社及び常磐線沿線の8つの自治体（足立区・葛飾区・荒川区・台東区・取手市・我孫子市・柏市・松戸市）が、「アート」をキーワードに、沿線地域のイメージアップと活性化に取り組む活動です。 各自治体で、常磐線での忘れ物傘にペイントするワークショップ「JOBANアートアンブレラ」などを開催しています。	アクセス数	JOBANアートラインPR動画の累計アクセス数 ※目標達成、上方修正【当初の目標1,000回】	287回	2,030回	3,000回
4	情報紙の発行（ミニコミ紙）	生涯学習支援課	区内全14学習センターにて、毎月フルカラーのミニコミ紙を発行し、センター内及びその他周辺施設や町会・自治会等の協力のもと配布しています。ミニコミ紙には、各センターの特色を活かし、講座や図書館の各種お知らせ・イベントや地域周辺の情報を掲載しています。 また、来館者アンケートに、ミニコミ紙に対する評価項目により、内容の充実に努めています。	配布部数	生涯学習センター及び地域学習センター（13センター）のミニコミ紙月間配布部数	504,000部	514,800部	504,000部
5	ソーシャルメディアを活用した情報発信	生涯学習支援課	区内全14学習センターはミニコミ紙の発行に加えて、ソーシャルメディアを活用して講座情報等のお知らせを発信しています。 区民の興味や関心を惹くタイムリーな情報を効果的に発信し、新規利用者の獲得と定着を図っていきます。	ソーシャルメディア フォロワー数	生涯学習センター及び地域学習センター（13センター）が発信しているソーシャルメディアのフォロワー数	—	6,170人	9,034人

足立区文化芸術推進計画（令和5年度改定）事業一覧

施策の柱4 文化芸術の輪を広げるプラットフォームを形成する

施策4-2 連携及び交流の機会を充実し、文化芸術の推進を図る

No.	事業名	所管	事業概要	活動指標	指標の定義	H30 策定時	R3 現状値	R8 目標値
1	アートアクセスあだち音 まち千住の縁 文化サロン 「仲町の家」	シティプロモーション課	足立区・東京藝術大学・NPO法人の共催事業「音まち千住の縁」の拠点施設。戦前に建てられた日本家屋を活用し、「人と人」、「人とまち」、「人とアート」をつなぐ千住の文化サロンとしてまちに開かれ、アートイベントなどを実施しています。 アートファンだけでなく、誰もがアートに触れることができ、多様な人々との交流ができる地域の文化形成拠点を目指します。 ※1 予算額（負担金）変動により、プログラム数の増減あり。 ※2 共同主催者の体制変更等により、事業終了となる場合あり。	プログラム数	「仲町の家」で展開される、主催プログラムとパイロットプログラムの総数	14事業	12事業	20事業
2	【再掲】 コンサートinミュージアム (公社自主事業) (1-1 No.10)	生涯学習振興公社	区内5か所の民間文化施設（六町ミュージアム・フローラ、昭和の家<平田邸>、わたなべ音楽堂<ヘルネザール>、石洞美術館、BUoY）をつなぎ、それぞれの特徴や魅力を最大限に活かしたコンサートや催し物を区民に届ける事業です。 区民への文化発信と、地域への愛着や誇りの醸成を図っていきます。	実施回数	参加5施設（石洞美術館、わたなべ音楽堂、昭和の家、六町ミュージアム、BUoY）でのコンサート等の催し物回数	5回	2回	5回
3	文化芸術交流会の開催	地域文化課	文化団体連合会や郷土芸能保存会では文化祭や発表会などの活動の場を通して活発な交流が行われています。 また、足立シティオーケストラ、足立吹奏楽団、足立区民合唱団の3支援団体ではプラットフォーム的な連絡会が行われています。このような交流会などを通して文化芸術の活性化を図っていきます。	実施回数	文化芸術交流会の年間開催数 ※R3年度はコロナ禍の影響で実施なし	-	1回	3回
4	【再掲】 東京藝術大学連携・芸術 によるまちづくり事業 (1-1 No.5)	地域文化課	東京藝術大学の大学生・卒業生による、区民を対象としたコンサート（動画配信含む）・ワークショップを、東京藝術大学音楽学部千住校及び区内施設へのアウトリーチとして実施します。	参加者数 【実施回数】	藝大千住キャンパスや地域学習センター、民間施設等での区内全域において開催した藝大コンサートイベントの参加者数および実施回数	193人 【3回】	109人 【2回】	500人 【4回】
				動画配信ごとの視聴回数 の合計 【動画本数】	コンサート動画の配信ごとの視聴回数の合計および配信した動画の本数 ※R3年度まではコロナ禍の影響により動画配信を中心にしていたが、R8年度の目標は対面コンサートと併用	-	14,659回 【4本】	5,000回 【2本】